

国際政治

120

国際政治のなかの沖縄

日本国際政治学会編

序論 国際政治のなかの沖縄	我 部 政 男
占領初期沖縄における米軍基地化と「自治」、1945—1946年	若 林 千 代
ジョージ・F・ケナン、PPSと沖縄	ロバート・D・エルドリッジ
アイゼンハワー政権の沖縄政策	宮 里 政 玄
「思いやり予算」の原型	我 部 政 明
沖縄と北方領土	ジンベルグ・ヤコフ
沖縄の反基地闘争と東アジアの平和創造	新 崎 盛 暉
米軍事戦略からみた沖縄	西 脇 文 昭
国際イシューをめぐるレファレンダム	白 鳥 浩
冷戦後の安全保障研究と「沖縄基地問題」	南 山 淳
「沖縄問題」の構造	上杉 勇司・昇 亜美子
<hr/>	
昭和十年代初めにおける国防国策の策定	星 野 耐
フィリピンのリカルテ将軍に関する一考察（1915—1945）	荒 哲
<hr/>	
<書 評>	
田中正弘著『近代日本と幕末外交文書編纂の研究』	高 橋 勝 浩
小林道彦著『日本の大陸政策 1895—1914』	酒 井 哲 哉
福永文夫著『占領下中道政権の形成と崩壊』	兵 頭 淳 史
防衛大学校安全保障学研究会・編『安全保障学入門』	
G・クレイグ、A・ジョージ著『軍事力と現代外交』	中 島 信 吾
黄仁宇著『従大歴史的角度読蒋介石日記』	家 近 亮 子
松川克彦著『ヨーロッパ 1939』	齊 藤 治 子
ロバート・ロス編著『過渡期の東アジア』	中 園 和 仁
滝田賢治著『太平洋国家アメリカへの道』	西 崎 文 子
趙宏偉著『中国の重層集権体制と経済発展』	中 岡 ま り

1999年2月刊